

安全データシート

発行日 2025/11/27

1. 化学品及び会社情報	
製品名	1,3,5-Trimethylbenzene
製品コード(製造元)	OR1559
製品コード(販売元)	一

供給者	富士フィルムと光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2~14章

製造元SDS(翻訳・次頁以降)による。

15. 適用法令

国内法規

毒物及び劇物取締法

—

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)

労働安全衛生法 濃度基準値

物質名	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値
1,3,5-トリメチルベンゼン	10 ppm	—

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) No.691

—

化学名	CASRN	含量	該当法令
1,3,5-トリメチルベンゼン	108-67-8	100%	安衛法 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) PRTR 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

消防法

危険物第四類 第二石油類 危険等級III

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 供給者および日本法規(毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法 法第 57 条の 2、化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)について本頁に記載します。
製品の詳細については次頁より製造元 SDS を翻訳したものを記載します。

免責事項

和文SDSは、製造元SDSを機械翻訳したものであり、不自然な表現が含まれることがあります。

より正確な情報に関しては製造元の原文SDSでご確認願います。

記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

以上



1,3,5-トリメチルベンゼン

アポロ・サイエンティフィック

部品番号: OR1559

バージョン番号: 1.1

安全データシート (REACH (1907/2006) 付属書II - 規則2020/878に準拠)

ケムウォッチ危険警報コード: 2

発行日: 2022年9月16日

印刷日: 2023年8月2日

S.REACH.GBR.EN

セクション1 単一物質/混合物および会社/事業体の識別

1.1. 製品識別子

製品名	1,3,5-トリメチルベンゼン
化学名	1,3,5-トリメチルベンゼン
別名	なし
品名	1,3,5-トリメチルベンゼン
化学式	C9-H12
その他の識別方法 識別	なし
CAS番号	108-67-8
EC番号	203-604-4
インデックス番号	601-025-00-5

1.2. 単一物質または混合物の特定された関連使用および推奨されない使用

特定された関連使用	該当なし
推奨されない使用	特に推奨されない使用は特定されていない。

1.3. 安全データシートの製造者または供給者の詳細

登録会社名	アポロ・サイエンティフィック
住所	ホワイトフィールド・ロード、ブレッドベリー SK62QR イギリス
電話番号	01614060505
ファックス	0161 406 0506
ウェブサイト	http://www.apolloscientific.co.uk/
メール	sales@apolloscientific.co.uk

1.4. 緊急連絡先

協会 / 組織	利用不可
緊急連絡先 番号	利用不可
その他の緊急連絡先 電話番号	利用不可

セクション2 危険有害性の要約

2.1. 物質又は混合物の分類

以下の基準に基づく分類

H226 - 可燃性液体 区分3、H411 - 水生環境に対する危険性 長期危険性 区分2、H335 -

規制 (EC) No 1272/2008 [CLP] および 改正点 ^[1]	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 (呼吸器刺激) 区分3
凡例:	1. Chemwatch による分類 2. 規則(EU) No 1272/2008 - 付属書VIに基づく分類

2.2. ラベル要素

危険表示図記	
注意喚起語	警告

危険性情報

H226	引火性液体および蒸気。
H411	長期的影響により水生生物に毒性。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。

補足情報

該当なし

予防措置予防

P210	熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること—禁煙
P271	屋外または換気のよい場所でのみ使用すること
P240	容器および受入設備を接地すること/アースをとること
P241	防爆仕様の電気機器、換気装置、照明器具、本質安全防爆機器を使用してください。
P242	火花を発生させない工具を使用してください。
P243	静電気放電を防止する措置を講じること。
P261	ミスト・蒸気・スプレーを吸入しない。
P273	環境への放出を避けること
P280	保護手袋および保護服を着用すること。

予防措置 対応

P370+P378	火災発生時: アルコール耐性泡消火剤または通常のタンパク質泡消火剤を使用して消火してください。
P312	気分がすぐれない場合、毒物管理センターまたは医師に連絡すること
P391	漏出物を回収すること
P303+P361+P353	皮膚(髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣服をすべて脱がせる。皮膚を水/シャワーで洗うこと。
P304+P340	吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移動させ、楽な呼吸ができるようにする。

予防措置 保管

P403+P235	換気のよい場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

予防措置 廃棄

P501	内容物および容器は、地域の規制に従い、認可された有害廃棄物または特別廃棄物収集場所に廃棄してください。
------	---

2.3. その他の危険性

1,3,5-トリメチルベンゼン	欧州規則 (EC) No 1907/2006 - 付属書 XVII に記載 (制限が適用される場合があります)
-----------------	---

セクション 3 組成及び成分情報

3.1. 単一物質

1. CAS番号 2. EC番号	重量%	名称	規制に基づく分類 (EC) No 1272/2008 [CLP] および	SCL / M係数	ナノフォーム粒子 特性
---------------------	-----	----	---	--------------	----------------

統く...

3.索引番号 4.REACH番号		改正				
入手不可	100	1,3,5-トリメチルベンゼン	該当なし		なし 該当	入手不可

凡例: 1. Chemwatchによる分類 2. 規則(EU)No 1272/2008 - 行商書VIに基づく分類 3. C&Lに基づく分類 * EU IOELVs

利用可能: [e] 内分泌かく乱特性を持つと特定された単一物質

3.2.混合物

セクション3.1の「成分に関する情報」を参照

セクション4 応急措置

4.1. 応急措置の説明

眼に入った場合	本品が目に入った場合: ▶ 直ちに水で洗い流してください。 ▶ 刺激が続く場合は、医師の診察を受けなさい。 ▶ 眼の負傷後のコンタクトレンズの除去は、熟練した担当者によってのみ行われるべきです。
皮膚に付着した場合	皮膚や毛髪に付着した場合: ▶ 流水(可能であれば石鹼も使用)で皮膚と毛髪を洗い流してください。 ▶ 刺激性がある場合は医師の診察を受けてください。
吸入	▶ 煙、エアゾール、または燃焼生成物を吸入した場合は、汚染区域から退避させる。 ▶ 通常、その他の措置は不要である。
飲み込んだ場合	▶ 直ちにコップ一杯の水を飲ませる。 ▶ 通常、応急処置は必要ありません。疑わしい場合は、毒物情報センターまたは医師に連絡してください。

4.2. 急性および遅発性の最も重要な症状および影響

第11項を参照

4.3. 必要な緊急医療処置および特別な治療

症状に応じて治療する。

セクション5 消火措置

5.1. 消火剤

5.2. 基材または混合物に起因する特別な危険性

火災の危険性	▶ 酸化剤(硝酸塩、酸化性酸、塩素系漂白剤、ブル用塩素など)による汚染を避けること。引火の恐れがあるため結果
--------	--

5.3. 消防隊員への助言

消火活動	▶ 液体及び蒸気は引火性である。 ▶ 熱や炎にさらされると中程度の火災の危険性がある。 ▶ 蒸気は空気と火薬・爆薬混合物を形成する。 ▶ 熱または炎にさらされると中程度の爆発の危険性がある。 ▶ 蒸気は相当な距離を移動して着火源に到達する可能性がある。 ▶ 加熱により膨張または分解が生じ、容器の破裂を引き起こす恐れがある。 ▶ 燃焼時には有毒・刺激性の煙を発生する可能性がある。
火災・爆発の危険性	

第6節 漏出時の措置

6. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時の対応

セクション8を参照

6.2. 環境に対する注意事項

第12項を参照

6.3. 収容および浄化の方法および材料

少量の漏出物	▶ すべての着火源を除去する。 ▶ 漏出物は直ちに清掃すること。
--------	-------------------------------------

大量漏出物時	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 蒸気の吸入、皮膚や目への接触を避けること。 ▶ 保護具を使用して、単一物質との接触を管理してください。 ▶ 少量はバーミキュライトまたはその他の吸収材で封じ込め、吸収してください。 ▶ 試き取ってください。 ▶ 残留物は火気注意廃棄物容器に収集してください。
---------------	---

6.4. 他の項への参照

保護具に関する助言は、SDSの第8項に含みます。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

7.1. 安全な取扱いに関する注意事項

安全な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 容器は、空になったものであっても、爆発性蒸気を含む可能性があります。 ▶ 容器の上またはその近くで、切断、穴あけ、研削、溶接、または同様の作業を行わないでください。 ▶ 吸入を含む、あらゆる身体への接触を避けてください。 ▶ 過度の暴露の危険がある場合は、保護服を着用してください。 ▶ 換気の良い場所で使用してください。 ▶ 窓みや排水溝での濃縮を防止してください。 ▶ 大気状態を確認するまで、閉所空間に入らないでください。 ▶ 喫煙、裸火、発火源を避けること。 ▶ 静電気の発生を避けること。 ▶ プラスチック製のバケツは使用しないでください。 ▶ すべての配線および機器を接地してください。 ▶ 取扱いには火花を発生しない工具を使用してください。 ▶ 互換性のない材料との接触を避けてください。 ▶ 取扱い中は飲食・喫煙を厳禁。 ▶ 使用しないときは容器を確実に密閉すること。 ▶ 容器の物理的損傷を避ける。 ▶ 取扱い後は必ず石鹼と水で手を洗ってください。 ▶ 作業服は他の衣類とは別に洗濯してください。 ▶ 適切な作業慣行を使用してください。 ▶ 本SDSに含む製造者の保管及び取扱いに関する推奨事項を遵守してください。 ▶ 安全な作業環境を確保するため、確立された暴露基準に対して定期的に大気を点検すること。
火災および爆発 防火・防爆対策	<p>セクション 5 を参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 承認された火気注意液体保管区域内の元の容器で保管してください。 ▶ 互換性のない物質から離し、涼しく乾燥した換気の良い場所に保管すること。 ▶ 穴、窓み、地下室、または蒸気が滞留する可能性のある場所には保管しないでください。 ▶ 喫煙、裸火、熱源、発火源を禁止します。 ▶ 保管区域は明確に識別され、十分な照明が確保され、障害物がなく、訓練を受け許可された担当者だけがアクセスできる状態にしておくこと。 ▶ 不正なアクセスを防ぐため、十分なセキュリティ対策を実施すること。 ▶ 貯蔵タンク、容器、配管、建物、部屋などについては、可燃性物質の貯蔵に関する該当の規制に従って保管すること。 ▶ キャビネット、許容数量および最小保管距離。 ▶ 非火花式換気システム、認定防爆機器、本質安全防爆電気システムを使用すること。 ▶ 保管区域には適切な消火能力を確保すること（例：携帯用消火器・粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤二酸化炭素）、ならびに可燃性/引火性ガス検知器を設置すること。 ▶ 漏出・流出時の吸着剤を常備すること。 ▶ 容器を物理的損傷から保護し、定期的に漏れがないか点検すること。 ▶ 本SDSに含まれる製造者の保管及び取扱いに関する推奨事項を遵守すること。 <p>さらに、タンク保管施設については（適切な場合）：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 接地され、適切に設計・承認された容器に保管し、不適合物質から離して保管すること。 ▶ パルク保管の場合、フローティングループまたは窒素置換容器の使用を検討すること。大気開放が可能な場合は、保管タンクのペントには火炎防止装置を設置すること。冬季にはタンクペントの蒸気/氷の堆積を点検すること。 ▶ 保管タンクは地上設置とし、内容物全体を保持できる堤防を設けること。
その他の情報	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製造者が供給した包装状態。 ▶ プラスチック容器は、火気注意液体に適した承認済みのものでなければ使用できません。 ▶ 容器に明確な表示があり、漏れがないことを確認すること。 ▶ 低粘度物質の場合 (i) : ドラム缶およびジェリー缶は、蓋が取り外せないタイプのものを使用すること。 (ii) : 缶は内蔵包として使用する場合は、缶はねじ込み式の蓋を備えていること。 ▶ 粘度が少なくとも 2680 cSt. (23°C) の材料の場合 ▶ 製造済み製品で、粘度が少なくとも 250 cSt (23°C) のもの ▶ 使用前に攪拌が必要で、かつ粘度が 20 cSt 以上 (25°C) の製造製品 : (i) 取り外し可能なヘッド梱包、(ii) 摩擦式閉鎖機構付き缶、(iii) 低圧チューブおよびカートリッジの使用が可能である。 ▶ 組み合せ梱包を使用する場合、内包装がガラス製であるときは、十分な不活性緩衝材が設けられなければならない

7.2. 安全な保管条件（不適合性を含む）

適切な容器	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 製造者が供給した包装状態。 ▶ プラスチック容器は、火気注意液体に適した承認済みのものでなければ使用できません。 ▶ 容器に明確な表示があり、漏れがないことを確認すること。 ▶ 低粘度物質の場合 (i) : ドラム缶およびジェリー缶は、蓋が取り外せないタイプのものを使用すること。 (ii) : 缶は内蔵包として使用する場合は、缶はねじ込み式の蓋を備えていること。 ▶ 粘度が少なくとも 2680 cSt. (23°C) の材料の場合 ▶ 製造済み製品で、粘度が少なくとも 250 cSt (23°C) のもの ▶ 使用前に攪拌が必要で、かつ粘度が 20 cSt 以上 (25°C) の製造製品 : (i) 取り外し可能なヘッド梱包、(ii) 摩擦式閉鎖機構付き缶、(iii) 低圧チューブおよびカートリッジの使用が可能である。 ▶ 組み合せ梱包を使用する場合、内包装がガラス製であるときは、十分な不活性緩衝材が設けられなければならない
--------------	---

	<p>内梱包および外梱包と接触する材料</p> <p>さらに、内包装がガラス製で、容器等級Iの液体を含む場合は、十分な不活性吸収剤がなければなりません。</p> <p>こぼれた液体を吸収するため、ただし外梱包がぴったりとフィットする成形プラスチック箱であり、かつ物質がプラスチックとプラスチックと相容れない場合を除き、こぼれた液体を吸収すること。</p>
保管上の不適合性	▶ 酸化剤との反応を避ける
危険物分類	
危険分類	P5a: 可燃性液体、P5b: 可燃性液体、P5c: 可燃性液体、E2: 水生環境に対する危険性
規制 (EC) No	カテゴリー 慢性2
1272/2008	
適格数量	P5a 下限/上限要件: 10/50
危険物質の(tonnes)	P5b 下限/上限要件: 50/200
物質の	P5c 下限/上限要件: 5000/50000
第3条(10項)に規定される 適用	E2 下限/上限要件: 200/500

7.3. 特定の最終使用

セクション 1.2 を参照

セクション 8 ばく露防止及び保護措置

8.1. 制御パラメータ

成分	DNEL 曝露パターン労働者	PNECs コンパートメント
データなし	経皮 16171 mg/kg 体重/日 (全身、慢性) 吸入 100 mg/m³ (全身、慢性) 吸入 100 mg/m³ (局所、慢性) 吸入 100 mg/m³ (全身、急性) 吸入 100 mg/m³ (局所、急性) 経皮 9512 mg/kg 体重/日 (全身性、慢性)* 吸入 29.4 mg/m³ (全身性、慢性)* 経口 15 mg/kg 体重/日 (全身性、慢性)* 吸入 29.4 mg/m³ (局所、慢性)* 吸入 29.4 mg/m³ (全身、急性)* 吸入 29.4 mg/m³ (局所、急性)*	0.101 mg/L (水 (淡水)) 0.101 mg/L (水 - 間欠放出) 0.101 mg/L (水 (海洋)) 7.86 mg/kg 沈殿物乾燥重量 (沈殿物 (淡水)) 7.86 mg/kg 堆積物乾燥重量 (堆積物 (海洋)) 1.34 mg/kg 土壤乾燥重量 (土壤) 2.02 mg/L (標準状態)

* 一般住民向け値

職業ばく露限界値 (OEL)

成分データ

出典	成分	材料名	TWA	STEL	ピーク	備考
利用不可						

該当なし

緊急制限

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
1,3,5-トリメチルベンゼン	なし	入手不可	入手不可

成分	元の IDLH	改訂 IDLH
1,3,5-トリメチルベンゼン	不明	不明

8.2. 暴露管理

8.2.1. 適切な 設備対策	<p>設備対策は、危険を除去するか、作業者と危険の間に障壁を設けるために使用される。適切に設計された設備対策は労働者を保護する上で非常に効果的であり、通常は労働者の操作に依存せず高いレベルの保護を提供します。</p> <p>設備対策の塩基性の種類は以下の通りである：</p> <p>プロセス管理：作業活動やプロセスの実施方法自体を変更し、リスクを低減する手法。</p> <p>排出源の開い込みおよび／または隔離により、選定された危険を労働者から「物理的に」遠ざけ、換気により作業環境において戦略的に空気を「供給」し「除去」する換気。換気は適切に設計されていれば、空気中の汚染物質を除去または希釈できる</p> <p>適切に設計されていれば、空気中の汚染物質を除去または希釈できる。換気システムの設計は、特定のプロセスおよび使用される化学物質や汚染物質に適合しなければならない。</p> <p>雇用主は、従業員の過剰暴露を防ぐために複数の管理手法を併用する必要があり、それらを適切に使用しなければならない。</p> <p>可燃性液体および可燃性/引火性ガスについては、局所排気装置またはプロセスエンクロージャー換気システムが必要となる場合があります。</p> <p>換気装置は防爆構造であること。</p>
----------------------------	---

1,3,5-トリメチルベンゼン

職場で発生する空気汚染物質は、さまざまな「逃亡」速度を持ち、それが「捕捉」を決定します。
汚染物質を効果的に除去するために必要な新鮮な循環空気の「流速」。

汚染物質の種類:

空気速度 :

0.025-0.5
m/s
(50-100
f/min.)

溶剤、蒸気、脱脂剤など、タンクから蒸発する（静止した空气中）。

0.5-1 m/s
(100-200
f/min.)エアゾール、注湯作業からの煙、間欠的な容器充填、低速コンペア移送、溶接、
スプレードリフト、めっき酸煙、酸洗い（低速で活性生成領域に放出）1-2.5 m/s
(200-500
f/min.)直接噴射、浅型ブース内でのスプレー塗装、ドラム充填、コンペア積載、粉砕機粉塵、ガス排出
(急激な気流領域への能動的発生)

各範囲内で適切な値は以下に依存する：

範囲の下限

範囲の上限

1: 室内の気流が最小限、または捕獲に有利

1: 室内の気流が乱れる

2: 毒性が低い、または迷惑なだけの汚染物質。

2: 高毒性汚染物質

3: 断続的、低生産。

3: 高生産量、多使用量

4: 大型フードまたは大気流の移動

4: 小型フードによる局所制御のみ

単純な理論によれば、単純な排気管の開口部から離れるにつれて気流速度は急速に低下する。速度は

は一般的に排気点からの距離の二乗に反比例して減少する（単純な場合）。したがって、排気口からの距離が

汚染源からの距離を考慮した上で、抽出位置を適切に調整すべきである。例えば、抽出ファンにおける空気流速は、タンク内で発生する溶剤を抽出するために、最低でも1~2m/s (200~400f/min.) とすべきである。

例えば、タンクから2メートル離れた地点で発生する溶剤を吸引する場合、吸引ファンの空気流速は最低1-2 m/s (200-400 f/min.) とする必要がある。

その他の機械的原因により排気性能が低下する場合がある。装置においては、排気システムを設置または使用する際に、理論上の空気速度を10倍以上の係数で乗算することが不可欠である。設置または使用する際には、理論上の空気速度を10倍以上の係数で乗算することが不可欠である。

・適切な換気とは、通常、危険物質を含む建物・室・囲い空間内において、平均濃度をLELの25%以下に制限するものとみなされる。

建物、部屋、または危険物質を含む囲い内の平均濃度をLELの25%以下に制限するものとみなされる。

・プラントおよび機械設備の換気は、通常、危険物質の平均濃度を制限すれば十分とみなされる。

潜在的に存在し得る単一物質は、LELの25%以下に制限される。ただし、危険な爆発性雰囲気の形成を防ぐための追加的な安全対策が講じられている場合、最大50%LELまでの増加は許容される。危険な爆発性雰囲気の形成を防止するための追加的な安全対策が講じられている場合には許容される。例えば、

例えば、プロセス緊急停止と連動するガス検知器の使用が挙げられる。これに加え、溶剤蒸発オープンやガススターピン囲いにおける排気換気の維持・強化が求められる。

溶剤蒸発オープンおよびガススターピン囲いにおける排気換気の維持または強化と併用することが考えられる。

・非定常的な高リスク作業（清掃、修理、タンクその他の閉所での保守点検、または漏洩後の緊急対応など）には、一時的な排気換気システムを設置することがある。

タンクやその他の閉所空間での清掃、修理、保守作業、あるいは漏洩発生後の緊急時などに設置される。こうした作業の手順は

は慎重に検討すべきである。換気が十分であり、

安全が維持されることを保証するため、大気を継続的に監視すべきである。作業員が空間に入る場合、換気は危険物質の濃度を安全基準以下に保つことを保証すべきである。

単一物質の濃度は、適切な呼吸用保護具の有無にかかわらず、LELの10%を超えてはならない。

8.2.2. 個人用保護

措置、例えば

個人用保護

装備



・サイドシールド付き安全ゴーグル

・化学防護ゴーグル [AS/NZS 1337.1、EN166 または各国相当規格]

・コンタクトレンズは特に危険を伴う可能性がある。ソフトコンタクトレンズは刺激物を吸収・濃縮する恐れがある。書面による方針

各職場または作業ごとに、レンズの着用方法または使用上の制限を記載した文書を作成すべきである。これには

使用中の化学物質の種類に応じたレンズの吸収・吸着に関する検討と、負傷事例の記録を含めること。

医療および救急要員はレンズの除去方法について訓練を受け、適切な除去器具は容易に利用可能であるべきである。

化学物質に曝露した場合、直ちに眼の洗浄を開始し、可能な限り速やかにコンタクトレンズを外すこと。レンズは

目の充血や刺激の最初の兆候が見られた時点で外すこと。レンズは清潔な環境下で、作業者が

手を十分に洗浄した後、清潔な環境でのみレンズを外すこと。[CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]

眼と顔の保護具

皮膚保護

下記の手の保護具を参照

一般的な保護手袋（例：軽量ゴム手袋）を着用すること。

適切な手袋の選択は、素材だけでなく、製造元ごとに異なるその他の品質基準にも依存する。

製造者によって異なる。化学物質が複数の単一物質からなる調剤である場合、手袋素材の耐性は

事前に計算することはできず、したがって使用前に確認する必要があります。

単一物質の正確な浸透時間は、保護手袋の製造者から入手し、

最終選択時にはこれを遵守する必要があります。

効果的な手袋アドバイスにおいて、個人衛生は重要な要素です。手袋は清潔な手にのみ着用してください。手袋使用後は、手を十分に洗い、乾かしてください。無香料の保湿剤の使用が推奨されます。

手袋の適性と耐久性は使用状況に依存します。手袋選定における重要な要素は以下の通りです：

・接触頻度と持続時間、

・手袋素材の耐薬品性、

・手袋の厚さと

・操作性

関連規格（例：欧州 EN 374、米国 F739、AS/NZS 2161.1 または各國相当規格）に基づき試験済みの手袋を選択すること。

- ・長時間の接触や頻繁な反復接触が想定される場合、EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または同等の国内規格に基づき、EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または国内相当規格に基づく240分を超えるもの）が推奨されます。
- ・短時間の接触のみが予想される場合、保護クラス3以上の手袋（EN 374、AS/NZS 2161.10.1 または国内相当規格に基づく浸透時間が60分を超えるもの）の使用が推奨される。）が推奨されます。
- ・一部のグローブ用ポリマーは動きの影響を受けにくいため、長期使用を想定したグローブ選定時にはこの点を考慮すべきである。
- 長期間の使用を検討する際には考慮すべき点である。
- ・汚染された手袋は交換すべきである。

ASTM F-739-96で定義される通り、あらゆる用途において手袋は以下の等級に分類される：

- ・突破時間が480分を超える場合に優れている
- ・突破時間が20分を超える場合に良好
- ・突破時間が20分未満の場合：普通
- ・グローブ材料が劣化する場合：不良

一般的な用途では、通常0.35mmを超える厚さの手袋が推奨されます。

手袋の厚さは、特定の化学物質に対する手袋の耐性を必ずしも正確に予測するものではないことに留意すべきである。

手袋の浸透効率は手袋素材の正確な組成に依存するためです。したがって、手袋の選定は作業要件の考慮と浸透時間の知識に基づくべきである。

手袋の厚みは、手袋製造者、手袋の種類、手袋のモデルによっても異なる場合があります。したがって、作業に最適な手袋を選定するためには、常に製造者の技術データを参照する必要があります。

注：実施する作業内容によっては、特定の作業に異なる厚さの手袋が必要となる場合があります。例：

- ・高い手先の器用さが求められる場合、より薄い手袋（0.1mm以下）が必要となることがある。ただし、これらの手袋は短時間の保護しか期待できず、通常は単回使用用途に限定され、その後廃棄される。
- ・機械的（化学的リスクに加え）危険が存在する場所、すなわち摩耗や穿孔の危険性がある場合

手袋は清潔な手のみ着用してください。使用後は手をよく洗い、十分に乾かしてください。

無香料の保湿剤の使用をお勧めします。

身体の保護	下記「その他の保護」を参照
その他の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーオール ・PVCエプロン。 ・暴露が深刻な場合は、PVC防護服が必要となる場合がある。 ・洗眼器。 ・安全シャワーがすぐに利用できるようにしてください。 ・静電気を発生させる可能性があるため、一部のプラスチック製個人用保護具（PPE）（例：手袋、エプロン、オーバーシューズ）は推奨されません。静電気を発生させる可能性があるため推奨されません。 ・大規模または継続的な使用時には、密に織られた非静電気性衣類（金属製ファスナー、袖口、ポケットなし）を着用してください。 ・火花を発生しない安全靴または導電性靴の使用を検討すること。導電性靴とは、靴底が化学的に底面部品に結合された導電性化合物で作られており、足底を恒久的に接地状態に制御し、身体から静電気を放散し、揮発性化合物の引火可能性を低減する。電気的抵抗値は0~500,000オームの範囲でなければならない。導電性靴は、着用する作業場に近いロッカーに保管すること。 ・着用する部屋の近くのロッカーに保管してください。導電性靴を支給された従業員は、職場から自宅までの移動時にそれらを履いてはいけません。自宅への往復時に着用してはならない。

8.2.3. 環境曝露管理

第12節を参照

セクション9 物理的及び化学的性質

9.1. 塩基性の物理的及び化学的性質に関する情報

性状	無色		
物理状態	液体	相対密度 (水=1)	利用不可
臭い	不明	分配係数 n-オクタノール / 水	利用不可
臭い閾値	不明	自然発火温度 (°C)	利用不可
pH (供給時)	不明	分解 温度 (°C)	利用不可
融点 / 凝固点 点 (°C)	-45	粘度 (cSt)	利用不可
初沸点および 沸騰範囲 (°C)	163-166	分子量 (g/mol)	利用不可
引火点 (°C)	53	味	不明
蒸発速度	不明	火薬・爆薬性	不明
可燃性	火気注意。	酸化性	入手不可

続き...

爆発上限 (%)	不明	表面張力 (dyn/cm または mN/m)	不明
下限火素・爆素限界 (%)	不明	揮発性成分 (体積%)	不明
蒸気圧 (kPa)	不明	ガスグループ	利用不可
水への溶解度	不明	溶液としてのpH (1%)	利用不可
蒸気密度 (空気=1)	0.864	揮発性有機化合物 g/L	利用不可
ナノフォームの溶解度	データなし	ナノフォーム粒子 特性	不明
粒子サイズ	不明		

9.2. その他の情報

利用不可

セクション10 安定性及び反応性

10.1. 反応性	セクション7.2を参照
10.2. 化学的安定性	▶ 不適合物質の存在下では不安定。 ▶ 製品は安定しているとみなされる。 ▶ 危険な重合は発生しない。
10.3. 可能性 危険な反応の可能性	セクション7.2を参照
10.4. 回避すべき条件	セクション7.2を参照
10.5. 混和不能な物質 材料	セクション7.2を参照
10.6. 危険な 分解生成物	5.3項参照

セクション11 有害性情報

11.1. 規則 (EC) No 1272/2008 で定義される危険有害性クラスに関する情報 毒性学的影響に関する情報

吸入	本物質は、EC指令（動物モデルによる分類）で分類されているように、健康への悪影響や呼吸器の刺激を引き起こすとは考えられていない。 ）。しかしながら、良好な衛生慣行として、曝露を最小限に抑え、適切な管理措置は職務において使用される。
飲み込んだ場合	当該物質は、EC指令その他の分類体系において「飲み込んだ場合による有害性」を有すると分類されていません。これは、裏付けとなる動物実験またはヒト試験の証拠が不足しているためです。
皮膚に付着した場合	本物質は、接触後の健康被害や皮膚刺激を引き起こすとは考えられていません（EC指令による動物モデル分類に基づく）。 ）。しかしながら、良好な衛生管理のためには、曝露を最小限に抑え、適切な手袋を使用することが求められます。
眼	この液体は刺激性物質とは考えられていない（EC指令による分類に基づく）が、眼への直接接触により涙や結膜の赤み（風焼けと同様）を特徴とする一時的な不快感が生じる可能性があります。
慢性	本製品への長期暴露は、健康に有害な慢性影響を生じないものと考えられています（EC指令による動物モデル分類に基づく）。 ）とされていますが、あらゆる経路による曝露は当然のことながら最小限に抑えるべきです。

1,3,5-トリメチルベンゼン	毒性	刺激性
	経皮（ラット）LD50 : > 3460 mg/kg ^[1]	眼：有害作用が認められる（刺激性） ^[1]
	吸入（ラット）LC50 : 24 mg/L/4h ^[2]	皮膚：有害作用が認められる（刺激性） ^[1]
	経口（ラット）LD50 : 6000 mg/kg ^[1]	
凡例:	欧州ECHA登録單一物質 - 急性毒性データより取得2. 製造者SDSより取得 特に記載がない限り、RTECS (化学單一物質毒性効果登録簿) から抽出	

急性毒性	✗	発がん性	✗
皮膚刺激性/腐食性	✗	生殖毒性	✗
重篤な眼 損傷・刺激	✗	特定標的臓器毒性 - 単回ばく露による	✓
呼吸器または皮膚 感作性	✗	特定標的臓器毒性 - 反復ばく露による	✗

変異原性



誤えん有害性



凡例:

✗ - データが利用できないか、分類基準を満たさない
✓ - 分類に必要なデータが利用可能

11.2 その他の危険性に関する情報

11.2.1. 内分泌かく乱特性

現在の文献において内分泌かく乱特性の証拠は確認されなかった。

11.2.2. その他の情報

セクション11.1を参照

第12節 環境影響情報

12.1. 毒性

1,3,5-トリメチルベンゼン	エンドポイント	試験期間(時間)	種	値	出典
	EC50	96時間	藻類またはその他の水生植物	3.084mg/l	2
	BCF	1680時間	魚	23-342	7
	EC50	48時間	甲殻類	13mg/L	5
	LC50	96時間	魚	5.216mg/l	2
	NOEC(ECx)	384時間	甲殻類	0.257mg/l	2

凡例:
出典: 1. IUCLID 毒性データ 2. 欧州ECHA登録單一物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性
4. 米国EPA、Ecotoxデータベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生危険性評価データ 6. NITE (日本) - 生物濃縮データ 7. 経済産業省 (日本) - 生物濃縮データ 8. ベンダーデータ

12.2. 持続性と分解性

成分	残留性: 水/土壤	残留性: 空気
	全成分についてデータなし	全成分についてデータなし

12.3. 生物蓄積性

成分	生物蓄積性
	全成分についてデータなし

12.4. 土壤中での移動性

成分	移動性
	全成分についてデータなし

12.5. PBT および vPvB 評価の結果

	P	B	T
入手可能な関連データ	はい	はい	はい
PBT	✗	✗	✗
vPvB	✗	✗	✗

PBT基準を満たしているか?

いいえ

vPvB

いいえ

12.6. 内分泌かく乱特性

現在の文献において、内分泌かく乱作用を示す証拠は認められなかった。

12.7. その他の有害作用

現在の文献において、オゾン層破壊作用の証拠は認められなかった。

セクション13 廃棄上の注意

続く...

13.1. 廃棄物処理方法

製品/梱包	廃棄	<p>廃棄物処理要件に関する法律は、国、州、および/または地域によって異なる場合があります。各利用者は、適用される法令を確認する必要があります。一部の地域では、特定の廃棄物の追跡が義務付けられています。</p> <p>管理の優先順位付けが一般的であるようです。ユーザーは以下の点を調査すべきです：</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 削減 ▶ 再利用 ▶ リサイクル ▶ 廃棄（他の手段が全て失敗した場合） <p>この材料は未使用の場合、または本来の使用に適さなくなった場合を除き、リサイクルが可能です。汚染された場合でも、ろ過、蒸留、その他の手段によって製品を再生できる可能性があります。</p> <p>汚染された場合、ろ過、蒸留、その他の手段による製品の回収が可能な場合があります。この種の決定においても、保存期間の考慮が適用されるべきです。なお、材料の特性は使用中に変化する可能性があることに留意してください。も考慮すべきです。材料の特性は使用中に変化する可能性があることに留意してください。リサイクルや再利用が常に適切とは限りません。</p> <p>▶ 洗浄またはプロセス装置からの洗浄水を排水路に流入させてはいけません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 廃棄前に、すべての洗浄水を回収して処理する必要がある場合があります。 ▶ いずれの場合も、下水道への廃棄は地域の法令や規制の対象となる場合があるため、まずこれらを考慮する必要があります。 ▶ 不明な場合は、管轄当局に連絡してください。 ▶ 可能な限りリサイクルしてください。 ▶ リサイクル方法については製造者にお問い合わせください。適切な処理・処分施設がない場合は、地方自治体または地域の廃棄物管理当局に処分方法をご相談ください。 ▶ 虐待または廃棄施設が特定できない場合。 ▶ 以下の方法で廃棄してください：化学廃棄物および/または医薬品廃棄物の受け入れを特別に認可された埋立処分場への埋設、または認可された焼却装置での焼却（適切な可燃性物質と混合後）。 ▶ 認可された装置での焼却（適切な可燃性物質との混合後）。空容器は除染すること。容器が洗浄・廃棄されるまで、ラベル記載の安全対策に全て従うこと。
廃棄物処理方法		利用不可
下水処理オプション		利用不可

セクション14 輸送上の注意

ラベルの必要性

海洋汚染物質	
HAZCHEM	3Y

陸上輸送 (ADR-RID(陸上・列車))

14.1. 国連番号または識別番号	2325												
14.2. UN 正式輸送名	1,3,5-トリメチルベンゼン												
名称													
14.3. 輸送上の危険性													
分類	<table border="1"> <tr> <td>クラス</td><td>3</td></tr> <tr> <td>補助危険</td><td>該当なし</td></tr> </table>	クラス	3	補助危険	該当なし								
クラス	3												
補助危険	該当なし												
14.4. 容器等級	III												
14.5. 環境危険	環境有害												
14.6. 特別な注意事項													
使用者向け	<table border="1"> <tr> <td>危険有害性の要約 (ケムラー)</td><td>30</td></tr> <tr> <td>分類コード</td><td>F1</td></tr> <tr> <td>危険表示</td><td>3</td></tr> <tr> <td>特別規定</td><td>該当なし</td></tr> <tr> <td>数量制限</td><td>5 L</td></tr> <tr> <td>トンネル規制コード</td><td>3 (D/E)</td></tr> </table>	危険有害性の要約 (ケムラー)	30	分類コード	F1	危険表示	3	特別規定	該当なし	数量制限	5 L	トンネル規制コード	3 (D/E)
危険有害性の要約 (ケムラー)	30												
分類コード	F1												
危険表示	3												
特別規定	該当なし												
数量制限	5 L												
トンネル規制コード	3 (D/E)												

航空輸送 (ICAO-IATA(航空) / DGR)

14.1. 国連番号	2325
------------	------

14.2. 国連指定貨物 名称	1,3,5-トリメチルベンゼン															
14.3. 輸送上の危険性 クラス	ICAO/IATA(航空) クラス	3														
	ICAO / IATA サブリスク	該当なし														
	ERG コード	3L														
14.4. 容器等級	III															
14.5. 環境 危険	環境有害性															
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	<table border="1"> <tr> <td>特別規定</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>貨物のみ 梱包指示</td> <td>366</td> </tr> <tr> <td>貨物のみ 最大数量/梱包</td> <td>220 L</td> </tr> <tr> <td>旅客および貨物 梱包指示</td> <td>355</td> </tr> <tr> <td>旅客および貨物 最大数量/包装単位</td> <td>60 L</td> </tr> <tr> <td>旅客・貨物 数量制限 梱包指示</td> <td>Y344</td> </tr> <tr> <td>旅客・貨物制限最大数量/包装単位</td> <td>10 L</td> </tr> </table>		特別規定	該当なし	貨物のみ 梱包指示	366	貨物のみ 最大数量/梱包	220 L	旅客および貨物 梱包指示	355	旅客および貨物 最大数量/包装単位	60 L	旅客・貨物 数量制限 梱包指示	Y344	旅客・貨物制限最大数量/包装単位	10 L
特別規定	該当なし															
貨物のみ 梱包指示	366															
貨物のみ 最大数量/梱包	220 L															
旅客および貨物 梱包指示	355															
旅客および貨物 最大数量/包装単位	60 L															
旅客・貨物 数量制限 梱包指示	Y344															
旅客・貨物制限最大数量/包装単位	10 L															

海上輸送 (IMDG(海上)コード／GGVSee)

14.1. 国連番号	2325							
14.2. UN 正式輸送名 名称	1,3,5-トリメチルベンゼン							
14.3. 輸送危険 分類	IMDG(海上) クラス	3						
	IMDG(海上) サブリスク	該当なし						
14.4. 容器等級	III							
14.5. 環境 危険	海洋汚染物質							
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	<table border="1"> <tr> <td>EMS番号</td> <td>F-E、S-D</td> </tr> <tr> <td>特別規定</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>数量制限</td> <td>5 L</td> </tr> </table>		EMS番号	F-E、S-D	特別規定	該当なし	数量制限	5 L
EMS番号	F-E、S-D							
特別規定	該当なし							
数量制限	5 L							

内陸水路輸送 (ADN(国際航空運送協会))

14.1. 国連番号	2325											
14.2. UN 正式輸送名 名称	1,3,5-トリメチルベンゼン											
14.3. 輸送上の危険性 クラス	3	該当なし										
14.4. 容器等級	III											
14.5. 環境 危険	環境有害性											
14.6. 特別な注意事項 ユーザー向け	<table border="1"> <tr> <td>分類コード</td> <td>F1</td> </tr> <tr> <td>特別規定</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td>限定数量</td> <td>5 L</td> </tr> <tr> <td>必要な機器</td> <td>PP、EX、A</td> </tr> <tr> <td>防火コーン数</td> <td>0</td> </tr> </table>		分類コード	F1	特別規定	該当なし	限定数量	5 L	必要な機器	PP、EX、A	防火コーン数	0
分類コード	F1											
特別規定	該当なし											
限定数量	5 L											
必要な機器	PP、EX、A											
防火コーン数	0											

14.7. IMO文書に基づく海上輸送 (バルク輸送)

14.7.1. MARPOL附属書II及びIBCコードに基づくバルク輸送

該当なし

14.7.2. MARPOL附属書V及びIMSBCコードに基づくバルク輸送

製品名	グループ
-----	------

14.7.3. IGCコードに基づくバルク輸送

製品名	船舶の種類
-----	-------

セクション 15 適用法令

15.1. 単一物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規制/法令

この安全データシートは、以下のEU法令およびその改正（該当する範囲において）に準拠しています：指令98/24/EC、- 92/85/EEC、- 94/33/EC
- 2008/98/EC、- 2010/75/EU、欧州委員会規則 (EU) 2020/878、改正版 (ATP) を通じて更新された規則 (EC) No 1272/2008。

2012/18/EU（セヴェーゾIII）に基づく情報：

セヴェーゾ分類	P5a、P5b、P5c、E2
---------	----------------

15.2. 化学物質安全性評価

詳細については、入手可能な場合、サプライチェーンが作成した化学物質安全性評価および暴露シナリオをご参照ください。

ECHAサマリー

該当なし

国内インベントリ状況

国内インベントリ	ステータス
オーストラリア - AIIC / オーストラリア 非工業使用	利用不可
カナダ - DSL	利用不可
カナダ - NDSL	利用不可
中国 - IECSC	利用不可
ヨーロッパ - EINEC / ELINCS / NLP	利用不可
日本 - 化審法官報公示番 号	利用不可
韓国 - KECI ニュージーランド - NZIoC	利用不可
フィリピン - PICCS	利用不可
アメリカ - TSCA	利用不可
台湾 - TCSI	利用不可
メキシコ - INSQ	利用不可
ベトナム - NCI	利用不可
ロシア - FBEPH	利用不可
凡例:	はい = すべてのCAS登録成分がインベントリに記載されている いいえ = CAS登録成分のうち1つ以上が在庫リストに記載されていません。これらの成分は免除対象となるか、登録が必要となります 登録が必要となる場合があります。

セクション16 その他の情報

改訂日	2022年9月16日
初回日付	2022年9月16日

全文リスク及びハザードコード

その他の情報

本製剤およびその個々の成分の分類は、公的かつ権威ある情報源に加え、Chemwatch分類委員会による利用可能な文献文献に基づく独立した審査に基づいて行われています。
分類委員会による独立したレビューの使用に基づいています。

SDSは危険有害性情報伝達ツールであり、リスク評価を支援するために使用すべきです。報告された危険有害性がリスクとなるか否かは多くの要因によって決定されます
職場やその他の環境において。リスクは曝露シナリオを参照して決定される場合がある。使用規模、使用頻度、および現行または利用可能な
設備対策の現状または利用可能性を考慮する必要がある。

保護具に関する詳細な助言については、以下のEU CEN規格を参照のこと：

EN 166 個人用眼保護具

EN 340 防護服

EN 374 化学物質及び微生物に対する防護手袋

続く...

EN 13832 化学物質から保護する履物

EN 133 呼吸用保護具

定義および略語

PC-TWA: 許容濃度-時間加重平均

PC-STEL: 許容濃度-短期ばく露限界

IARC: 国際がん研究機関

ACGIH: 米国産業衛生専門家会議

STEL: 短時間ばく露限界

TEEL: 一時的緊急ばく露限界

IDLH: 生命または健康に直ちに危険な濃度

ES: 暴露基準

OSF: 臭い安全係数

NOAEL: 無有害影響量

LOAEL: 最低有害作用レベル

TLV: 閾値限界値

LOD: 検出限界

OTV: 臭い閾値

BCF: 生物濃縮係数

BEI: 生物学的曝露指數

AIIC: オーストラリア工業化学物質インベントリ

DSL: 国内単一物質リスト

NDSL: 非国内単一物質リスト

IECSC: 中国既存化学単一物質インベントリ

EINECS: 欧州既存商業化学単一物質インベントリ

ELINCS: 欧州届出化学物質リスト

NLP: 非ボリマー

化審法官報公示番号: 既存及び新規単一物質インベントリ

KECI: 韓国既存化学物質インベントリ

NZIoC: ニュージーランド化学物質インベントリ

PICCS: フィリピン化学物質インベントリ

TSCA: 有害物質規制法

TCSI: 台湾化学物質インベントリ

INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas

NCI: National Chemical Inventory

FBEPH: ロシア潜在危険化学物質・生物物質登録簿

Powered by AuthoriTe, from Chemwatch.



1,3,5-Trimethylbenzene

Apollo Scientific

Chemwatch Hazard Alert Code: 2

Part Number: OR1559

Issue Date: 16/09/2022

Version No: 1.1

Print Date: 02/08/2023

Safety Data Sheet (Conforms to Annex II of REACH (1907/2006) - Regulation 2020/878)

S.REACH.GBR.EN

SECTION 1 Identification of the substance / mixture and of the company / undertaking

1.1. Product Identifier

Product name	1,3,5-Trimethylbenzene
Chemical Name	1,3,5-trimethyl benzene
Synonyms	Not Available
Proper shipping name	1,3,5-TRIMETHYLBENZENE
Chemical formula	C9-H12
Other means of identification	Not Available
CAS number	108-67-8
EC number	203-604-4
Index number	601-025-00-5

1.2. Relevant identified uses of the substance or mixture and uses advised against

Relevant identified uses	Not Available
Uses advised against	No specific uses advised against are identified.

1.3. Details of the manufacturer or supplier of the safety data sheet

Registered company name	Apollo Scientific
Address	Whitefield Road, Bredbury SK62QR United Kingdom
Telephone	01614060505
Fax	0161 406 0506
Website	http://www.apolloscientific.co.uk/
Email	sales@apolloscientific.co.uk

1.4. Emergency telephone number

Association / Organisation	Not Available
Emergency telephone numbers	Not Available
Other emergency telephone numbers	Not Available

SECTION 2 Hazards identification

2.1. Classification of the substance or mixture

Classification according to	H226 - Flammable Liquids Category 3, H411 - Hazardous to the Aquatic Environment Long-Term Hazard Category 2, H335 -
-----------------------------	--

regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and amendments [1]	Specific Target Organ Toxicity - Single Exposure (Respiratory Tract Irritation) Category 3
Legend:	1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI

2.2. Label elements

Hazard pictogram(s)	
Signal word	Warning

Hazard statement(s)

H226	Flammable liquid and vapour.
H411	Toxic to aquatic life with long lasting effects.
H335	May cause respiratory irritation.

Supplementary statement(s)

Not Applicable

Precautionary statement(s) Prevention

P210	Keep away from heat, hot surfaces, sparks, open flames and other ignition sources. No smoking.
P271	Use only outdoors or in a well-ventilated area.
P240	Ground and bond container and receiving equipment.
P241	Use explosion-proof electrical/ventilating/lighting/intrinsically safe equipment.
P242	Use non-sparking tools.
P243	Take action to prevent static discharges.
P261	Avoid breathing mist/vapours/spray.
P273	Avoid release to the environment.
P280	Wear protective gloves and protective clothing.

Precautionary statement(s) Response

P370+P378	In case of fire: Use alcohol resistant foam or normal protein foam to extinguish.
P312	Call a POISON CENTER/doctor/physician/first aider/if you feel unwell.
P391	Collect spillage.
P303+P361+P353	IF ON SKIN (or hair): Take off immediately all contaminated clothing. Rinse skin with water [or shower].
P304+P340	IF INHALED: Remove person to fresh air and keep comfortable for breathing.

Precautionary statement(s) Storage

P403+P235	Store in a well-ventilated place. Keep cool.
P405	Store locked up.

Precautionary statement(s) Disposal

P501	Dispose of contents/container to authorised hazardous or special waste collection point in accordance with any local regulation.
------	--

2.3. Other hazards

1,3,5-Trimethylbenzene	Listed in the Europe Regulation (EC) No 1907/2006 - Annex XVII (Restrictions may apply)
------------------------	---

SECTION 3 Composition / information on ingredients

3.1. Substances

1. CAS No	%[weight]	Name	Classification according to regulation (EC) No 1272/2008 [CLP] and	SCL / M-Factor	Nanoform Particle Characteristics
2. EC No					

Continued...

3.Index No 4.REACH No			amendments		
Not Available	100	1,3,5-Trimethylbenzene	Not Applicable	Not Applicable	Not Available

Legend: 1. Classified by Chemwatch; 2. Classification drawn from Regulation (EU) No 1272/2008 - Annex VI; 3. Classification drawn from C&L; * EU IOELVs available; [e] Substance identified as having endocrine disrupting properties

3.2. Mixtures

See 'Information on ingredients' in section 3.1

SECTION 4 First aid measures

4.1. Description of first aid measures

Eye Contact	If this product comes in contact with eyes: ▶ Wash out immediately with water. ▶ If irritation continues, seek medical attention. ▶ Removal of contact lenses after an eye injury should only be undertaken by skilled personnel.
Skin Contact	If skin or hair contact occurs: ▶ Flush skin and hair with running water (and soap if available). ▶ Seek medical attention in event of irritation.
Inhalation	▶ If fumes, aerosols or combustion products are inhaled remove from contaminated area. ▶ Other measures are usually unnecessary.
Ingestion	▶ Immediately give a glass of water. ▶ First aid is not generally required. If in doubt, contact a Poisons Information Centre or a doctor.

4.2 Most important symptoms and effects, both acute and delayed

See Section 11

4.3. Indication of any immediate medical attention and special treatment needed

Treat symptomatically.

SECTION 5 Firefighting measures

5.1. Extinguishing media

5.2. Special hazards arising from the substrate or mixture

Fire Incompatibility	▶ Avoid contamination with oxidising agents i.e. nitrates, oxidising acids, chlorine bleaches, pool chlorine etc. as ignition may result
-----------------------------	--

5.3. Advice for firefighters

Fire Fighting	▶ Liquid and vapour are flammable. ▶ Moderate fire hazard when exposed to heat or flame. ▶ Vapour forms an explosive mixture with air.
Fire/Explosion Hazard	▶ Moderate explosion hazard when exposed to heat or flame. ▶ Vapour may travel a considerable distance to source of ignition. ▶ Heating may cause expansion or decomposition leading to violent rupture of containers. ▶ On combustion, may emit toxic/ irritating fumes.

SECTION 6 Accidental release measures

6.1. Personal precautions, protective equipment and emergency procedures

See section 8

6.2. Environmental precautions

See section 12

6.3. Methods and material for containment and cleaning up

Minor Spills	▶ Remove all ignition sources. ▶ Clean up all spills immediately.
---------------------	--

Continued...

	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Avoid breathing vapours and contact with skin and eyes. ▸ Control personal contact with the substance, by using protective equipment. ▸ Contain and absorb small quantities with vermiculite or other absorbent material. ▸ Wipe up. ▸ Collect residues in a flammable waste container.
Major Spills	

6.4. Reference to other sections

Personal Protective Equipment advice is contained in Section 8 of the SDS.

SECTION 7 Handling and storage

7.1. Precautions for safe handling

Safe handling	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Containers, even those that have been emptied, may contain explosive vapours. ▸ Do NOT cut, drill, grind, weld or perform similar operations on or near containers. ▸ Avoid all personal contact, including inhalation. ▸ Wear protective clothing when risk of overexposure occurs. ▸ Use in a well-ventilated area. ▸ Prevent concentration in hollows and sumps. ▸ DO NOT enter confined spaces until atmosphere has been checked. ▸ Avoid smoking, naked lights or ignition sources. ▸ Avoid generation of static electricity. ▸ DO NOT use plastic buckets. ▸ Earth all lines and equipment. ▸ Use spark-free tools when handling. ▸ Avoid contact with incompatible materials. ▸ When handling, DO NOT eat, drink or smoke. ▸ Keep containers securely sealed when not in use. ▸ Avoid physical damage to containers. ▸ Always wash hands with soap and water after handling. ▸ Work clothes should be laundered separately. ▸ Use good occupational work practice. ▸ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS. ▸ Atmosphere should be regularly checked against established exposure standards to ensure safe working conditions.
Fire and explosion protection	See section 5
Other information	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Store in original containers in approved flammable liquid storage area. ▸ Store away from incompatible materials in a cool, dry, well-ventilated area. ▸ DO NOT store in pits, depressions, basements or areas where vapours may be trapped. ▸ No smoking, naked lights, heat or ignition sources. ▸ Storage areas should be clearly identified, well illuminated, clear of obstruction and accessible only to trained and authorised personnel - adequate security must be provided so that unauthorised personnel do not have access. ▸ Store according to applicable regulations for flammable materials for storage tanks, containers, piping, buildings, rooms, cabinets, allowable quantities and minimum storage distances. ▸ Use non-sparking ventilation systems, approved explosion proof equipment and intrinsically safe electrical systems. ▸ Have appropriate extinguishing capability in storage area (e.g. portable fire extinguishers - dry chemical, foam or carbon dioxide) and flammable gas detectors. ▸ Keep adsorbents for leaks and spills readily available. ▸ Protect containers against physical damage and check regularly for leaks. ▸ Observe manufacturer's storage and handling recommendations contained within this SDS. <p>In addition, for tank storages (where appropriate):</p> <ul style="list-style-type: none"> ▸ Store in grounded, properly designed and approved vessels and away from incompatible materials. ▸ For bulk storages, consider use of floating roof or nitrogen blanketed vessels; where venting to atmosphere is possible, equip storage tank vents with flame arrestors; inspect tank vents during winter conditions for vapour/ ice build-up. ▸ Storage tanks should be above ground and diked to hold entire contents.

7.2. Conditions for safe storage, including any incompatibilities

Suitable container	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Packing as supplied by manufacturer. ▸ Plastic containers may only be used if approved for flammable liquid. ▸ Check that containers are clearly labelled and free from leaks. ▸ For low viscosity materials (i) : Drums and jerry cans must be of the non-removable head type. (ii) : Where a can is to be used as an inner package, the can must have a screwed enclosure. ▸ For materials with a viscosity of at least 2680 cSt. (23 deg. C) ▸ For manufactured product having a viscosity of at least 250 cSt. (23 deg. C) ▸ Manufactured product that requires stirring before use and having a viscosity of at least 20 cSt (25 deg. C): (i) Removable head packaging; (ii) Cans with friction closures and (iii) low pressure tubes and cartridges may be used. ▸ Where combination packages are used, and the inner packages are of glass, there must be sufficient inert cushioning
---------------------------	---

Continued...

	<p>material in contact with inner and outer packages</p> <ul style="list-style-type: none"> In addition, where inner packagings are glass and contain liquids of packing group I there must be sufficient inert absorbent to absorb any spillage, unless the outer packaging is a close fitting moulded plastic box and the substances are not incompatible with the plastic.
Storage incompatibility	<ul style="list-style-type: none"> Avoid reaction with oxidising agents
Hazard categories in accordance with Regulation (EC) No 1272/2008	P5a: Flammable Liquids, P5b: Flammable Liquids, P5c: Flammable Liquids, E2: Hazardous to the Aquatic Environment in Category Chronic 2
Qualifying quantity (tonnes) of dangerous substances as referred to in Article 3(10) for the application of	<p>P5a Lower- / Upper-tier requirements: 10 / 50 P5b Lower- / Upper-tier requirements: 50 / 200 P5c Lower- / Upper-tier requirements: 5 000 / 50 000 E2 Lower- / Upper-tier requirements: 200 / 500</p>

7.3. Specific end use(s)

See section 1.2

SECTION 8 Exposure controls / personal protection

8.1. Control parameters

Ingredient	DNELs Exposure Pattern Worker	PNECs Compartment
Not Available	<p>Dermal 16 171 mg/kg bw/day (Systemic, Chronic) Inhalation 100 mg/m³ (Systemic, Chronic) Inhalation 100 mg/m³ (Local, Chronic) Inhalation 100 mg/m³ (Systemic, Acute) Inhalation 100 mg/m³ (Local, Acute) <i>Dermal 9 512 mg/kg bw/day (Systemic, Chronic) *</i> <i>Inhalation 29.4 mg/m³ (Systemic, Chronic) *</i> <i>Oral 15 mg/kg bw/day (Systemic, Chronic) *</i> <i>Inhalation 29.4 mg/m³ (Local, Chronic) *</i> <i>Inhalation 29.4 mg/m³ (Systemic, Acute) *</i> <i>Inhalation 29.4 mg/m³ (Local, Acute) *</i></p>	0.101 mg/L (Water (Fresh)) 0.101 mg/L (Water - Intermittent release) 0.101 mg/L (Water (Marine)) 7.86 mg/kg sediment dw (Sediment (Fresh Water)) 7.86 mg/kg sediment dw (Sediment (Marine)) 1.34 mg/kg soil dw (Soil) 2.02 mg/L (STP)

* Values for General Population

Occupational Exposure Limits (OEL)

INGREDIENT DATA

Source	Ingredient	Material name	TWA	STEL	Peak	Notes
Not Available						

Not Applicable

Emergency Limits

Ingredient	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
1,3,5-Trimethylbenzene	Not Available	Not Available	Not Available

Ingredient	Original IDLH	Revised IDLH
1,3,5-Trimethylbenzene	Not Available	Not Available

8.2. Exposure controls

8.2.1. Appropriate engineering controls	<p>Engineering controls are used to remove a hazard or place a barrier between the worker and the hazard. Well-designed engineering controls can be highly effective in protecting workers and will typically be independent of worker interactions to provide this high level of protection.</p> <p>The basic types of engineering controls are:</p> <p>Process controls which involve changing the way a job activity or process is done to reduce the risk.</p> <p>Enclosure and/or isolation of emission source which keeps a selected hazard "physically" away from the worker and ventilation that strategically "adds" and "removes" air in the work environment. Ventilation can remove or dilute an air contaminant if designed properly. The design of a ventilation system must match the particular process and chemical or contaminant in use.</p> <p>Employers may need to use multiple types of controls to prevent employee overexposure.</p> <p>For flammable liquids and flammable gases, local exhaust ventilation or a process enclosure ventilation system may be required. Ventilation equipment should be explosion-resistant.</p>
--	---

Continued...

	<p>Air contaminants generated in the workplace possess varying "escape" velocities which, in turn, determine the "capture velocities" of fresh circulating air required to effectively remove the contaminant.</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Type of Contaminant:</th><th>Air Speed:</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).</td><td>0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)</td></tr> <tr> <td>aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)</td><td>0.5-1 m/s (100-200 f/min.)</td></tr> <tr> <td>direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)</td><td>1-2.5 m/s (200-500 f/min.)</td></tr> </tbody> </table> <p>Within each range the appropriate value depends on:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Lower end of the range</th><th>Upper end of the range</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1: Room air currents minimal or favourable to capture</td><td>1: Disturbing room air currents</td></tr> <tr> <td>2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.</td><td>2: Contaminants of high toxicity</td></tr> <tr> <td>3: Intermittent, low production.</td><td>3: High production, heavy use</td></tr> <tr> <td>4: Large hood or large air mass in motion</td><td>4: Small hood-local control only</td></tr> </tbody> </table> <p>Simple theory shows that air velocity falls rapidly with distance away from the opening of a simple extraction pipe. Velocity generally decreases with the square of distance from the extraction point (in simple cases). Therefore the air speed at the extraction point should be adjusted, accordingly, after reference to distance from the contaminating source. The air velocity at the extraction fan, for example, should be a minimum of 1-2 m/s (200-400 f/min.) for extraction of solvents generated in a tank 2 meters distant from the extraction point. Other mechanical considerations, producing performance deficits within the extraction apparatus, make it essential that theoretical air velocities are multiplied by factors of 10 or more when extraction systems are installed or used.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Adequate ventilation is typically taken to be that which limits the average concentration to no more than 25% of the LEL within the building, room or enclosure containing the dangerous substance. • Ventilation for plant and machinery is normally considered adequate if it limits the average concentration of any dangerous substance that might potentially be present to no more than 25% of the LEL. However, an increase up to a maximum 50% LEL can be acceptable where additional safeguards are provided to prevent the formation of a hazardous explosive atmosphere. For example, gas detectors linked to emergency shutdown of the process might be used together with maintaining or increasing the exhaust ventilation on solvent evaporating ovens and gas turbine enclosures. • Temporary exhaust ventilation systems may be provided for non-routine higher-risk activities, such as cleaning, repair or maintenance in tanks or other confined spaces or in an emergency after a release. The work procedures for such activities should be carefully considered.. The atmosphere should be continuously monitored to ensure that ventilation is adequate and the area remains safe. Where workers will enter the space, the ventilation should ensure that the concentration of the dangerous substance does not exceed 10% of the LEL (irrespective of the provision of suitable breathing apparatus) 	Type of Contaminant:	Air Speed:	solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).	0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)	aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)	direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)	1-2.5 m/s (200-500 f/min.)	Lower end of the range	Upper end of the range	1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents	2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.	2: Contaminants of high toxicity	3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use	4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only	
Type of Contaminant:	Air Speed:																			
solvent, vapours, degreasing etc., evaporating from tank (in still air).	0.25-0.5 m/s (50-100 f/min.)																			
aerosols, fumes from pouring operations, intermittent container filling, low speed conveyer transfers, welding, spray drift, plating acid fumes, pickling (released at low velocity into zone of active generation)	0.5-1 m/s (100-200 f/min.)																			
direct spray, spray painting in shallow booths, drum filling, conveyer loading, crusher dusts, gas discharge (active generation into zone of rapid air motion)	1-2.5 m/s (200-500 f/min.)																			
Lower end of the range	Upper end of the range																			
1: Room air currents minimal or favourable to capture	1: Disturbing room air currents																			
2: Contaminants of low toxicity or of nuisance value only.	2: Contaminants of high toxicity																			
3: Intermittent, low production.	3: High production, heavy use																			
4: Large hood or large air mass in motion	4: Small hood-local control only																			
8.2.2. Individual protection measures, such as personal protective equipment	   																			
Eye and face protection	<ul style="list-style-type: none"> • Safety glasses with side shields • Chemical goggles. [AS/NZS 1337.1, EN166 or national equivalent] • Contact lenses may pose a special hazard; soft contact lenses may absorb and concentrate irritants. A written policy document, describing the wearing of lenses or restrictions on use, should be created for each workplace or task. This should include a review of lens absorption and adsorption for the class of chemicals in use and an account of injury experience. Medical and first-aid personnel should be trained in their removal and suitable equipment should be readily available. In the event of chemical exposure, begin eye irrigation immediately and remove contact lens as soon as practicable. Lens should be removed at the first signs of eye redness or irritation - lens should be removed in a clean environment only after workers have washed hands thoroughly. [CDC NIOSH Current Intelligence Bulletin 59]. 																			
Skin protection	See Hand protection below																			
Hands/feet protection	<p>Wear general protective gloves, eg. light weight rubber gloves.</p> <p>The selection of suitable gloves does not only depend on the material, but also on further marks of quality which vary from manufacturer to manufacturer. Where the chemical is a preparation of several substances, the resistance of the glove material can not be calculated in advance and has therefore to be checked prior to the application.</p> <p>The exact break through time for substances has to be obtained from the manufacturer of the protective gloves and has to be observed when making a final choice.</p> <p>Personal hygiene is a key element of effective hand care. Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.</p> <p>Suitability and durability of glove type is dependent on usage. Important factors in the selection of gloves include:</p> <ul style="list-style-type: none"> • frequency and duration of contact, • chemical resistance of glove material, • glove thickness and • dexterity 																			

	<p>Select gloves tested to a relevant standard (e.g. Europe EN 374, US F739, AS/NZS 2161.1 or national equivalent).</p> <ul style="list-style-type: none"> When prolonged or frequently repeated contact may occur, a glove with a protection class of 5 or higher (breakthrough time greater than 240 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended. When only brief contact is expected, a glove with a protection class of 3 or higher (breakthrough time greater than 60 minutes according to EN 374, AS/NZS 2161.10.1 or national equivalent) is recommended. Some glove polymer types are less affected by movement and this should be taken into account when considering gloves for long-term use. Contaminated gloves should be replaced. <p>As defined in ASTM F-739-96 in any application, gloves are rated as:</p> <ul style="list-style-type: none"> Excellent when breakthrough time > 480 min Good when breakthrough time > 20 min Fair when breakthrough time < 20 min Poor when glove material degrades <p>For general applications, gloves with a thickness typically greater than 0.35 mm, are recommended.</p> <p>It should be emphasised that glove thickness is not necessarily a good predictor of glove resistance to a specific chemical, as the permeation efficiency of the glove will be dependent on the exact composition of the glove material. Therefore, glove selection should also be based on consideration of the task requirements and knowledge of breakthrough times.</p> <p>Glove thickness may also vary depending on the glove manufacturer, the glove type and the glove model. Therefore, the manufacturers technical data should always be taken into account to ensure selection of the most appropriate glove for the task.</p> <p>Note: Depending on the activity being conducted, gloves of varying thickness may be required for specific tasks. For example:</p> <ul style="list-style-type: none"> Thinner gloves (down to 0.1 mm or less) may be required where a high degree of manual dexterity is needed. However, these gloves are only likely to give short duration protection and would normally be just for single use applications, then disposed of. Thicker gloves (up to 3 mm or more) may be required where there is a mechanical (as well as a chemical) risk i.e. where there is abrasion or puncture potential <p>Gloves must only be worn on clean hands. After using gloves, hands should be washed and dried thoroughly. Application of a non-perfumed moisturiser is recommended.</p>
Body protection	See Other protection below
Other protection	<ul style="list-style-type: none"> Overalls. PVC Apron. PVC protective suit may be required if exposure severe. Eyewash unit. Ensure there is ready access to a safety shower. Some plastic personal protective equipment (PPE) (e.g. gloves, aprons, overshoes) are not recommended as they may produce static electricity. For large scale or continuous use wear tight-weave non-static clothing (no metallic fasteners, cuffs or pockets). Non sparking safety or conductive footwear should be considered. Conductive footwear describes a boot or shoe with a sole made from a conductive compound chemically bound to the bottom components, for permanent control to electrically ground the foot and shall dissipate static electricity from the body to reduce the possibility of ignition of volatile compounds. Electrical resistance must range between 0 to 500,000 ohms. Conductive shoes should be stored in lockers close to the room in which they are worn. Personnel who have been issued conductive footwear should not wear them from their place of work to their homes and return.

8.2.3. Environmental exposure controls

See section 12

SECTION 9 Physical and chemical properties

9.1. Information on basic physical and chemical properties

Appearance	Colourless		
Physical state	Liquid	Relative density (Water = 1)	Not Available
Odour	Not Available	Partition coefficient n-octanol / water	Not Available
Odour threshold	Not Available	Auto-ignition temperature (°C)	Not Available
pH (as supplied)	Not Available	Decomposition temperature (°C)	Not Available
Melting point / freezing point (°C)	-45	Viscosity (cSt)	Not Available
Initial boiling point and boiling range (°C)	163-166	Molecular weight (g/mol)	Not Available
Flash point (°C)	53	Taste	Not Available
Evaporation rate	Not Available	Explosive properties	Not Available
Flammability	Flammable.	Oxidising properties	Not Available

Continued...

Upper Explosive Limit (%)	Not Available	Surface Tension (dyn/cm or mN/m)	Not Available
Lower Explosive Limit (%)	Not Available	Volatile Component (%vol)	Not Available
Vapour pressure (kPa)	Not Available	Gas group	Not Available
Solubility in water	Not Available	pH as a solution (1%)	Not Available
Vapour density (Air = 1)	0.864	VOC g/L	Not Available
Nanoform Solubility	Not Available	Nanoform Particle Characteristics	Not Available
Particle Size	Not Available		

9.2. Other information

Not Available

SECTION 10 Stability and reactivity

10.1. Reactivity	See section 7.2
10.2. Chemical stability	<ul style="list-style-type: none"> ▸ Unstable in the presence of incompatible materials. ▸ Product is considered stable. ▸ Hazardous polymerisation will not occur.
10.3. Possibility of hazardous reactions	See section 7.2
10.4. Conditions to avoid	See section 7.2
10.5. Incompatible materials	See section 7.2
10.6. Hazardous decomposition products	See section 5.3

SECTION 11 Toxicological information

11.1. Information on hazard classes as defined in Regulation (EC) No 1272/2008 Information on toxicological effects

Inhaled	The material is not thought to produce adverse health effects or irritation of the respiratory tract (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable control measures be used in an occupational setting.
Ingestion	The material has NOT been classified by EC Directives or other classification systems as "harmful by ingestion". This is because of the lack of corroborating animal or human evidence.
Skin Contact	The material is not thought to produce adverse health effects or skin irritation following contact (as classified by EC Directives using animal models). Nevertheless, good hygiene practice requires that exposure be kept to a minimum and that suitable gloves be used in an occupational setting.
Eye	Although the liquid is not thought to be an irritant (as classified by EC Directives), direct contact with the eye may produce transient discomfort characterised by tearing or conjunctival redness (as with windburn).
Chronic	Long-term exposure to the product is not thought to produce chronic effects adverse to the health (as classified by EC Directives using animal models); nevertheless exposure by all routes should be minimised as a matter of course.

1,3,5-Trimethylbenzene	TOXICITY	IRRITATION
	dermal (rat) LD50: >3460 mg/kg ^[1]	Eye: adverse effect observed (irritating) ^[1]
	Inhalation(Rat) LC50: 24 mg/L4h ^[2]	Skin: adverse effect observed (irritating) ^[1]
	Oral (Rat) LD50: 6000 mg/kg ^[1]	
Legend:	1. Value obtained from Europe ECHA Registered Substances - Acute toxicity 2. Value obtained from manufacturer's SDS. Unless otherwise specified data extracted from RTECS - Register of Toxic Effect of chemical Substances	

Acute Toxicity	✗	Carcinogenicity	✗
Skin Irritation/Corrosion	✗	Reproductivity	✗
Serious Eye Damage/Irritation	✗	STOT - Single Exposure	✓
Respiratory or Skin sensitisation	✗	STOT - Repeated Exposure	✗

Mutagenicity Aspiration Hazard 

Legend:  – Data either not available or does not fill the criteria for classification
 – Data available to make classification

11.2 Information on other hazards

11.2.1. Endocrine disrupting properties

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

11.2.2. Other information

See Section 11.1

SECTION 12 Ecological information

12.1. Toxicity

	Endpoint	Test Duration (hr)	Species	Value	Source
1,3,5-Trimethylbenzene	EC50	96h	Algae or other aquatic plants	3.084mg/l	2
	BCF	1680h	Fish	23-342	7
	EC50	48h	Crustacea	13mg/L	5
	LC50	96h	Fish	5.216mg/l	2
	NOEC(ECx)	384h	Crustacea	0.257mg/l	2

Legend: Extracted from 1. IUCLID Toxicity Data 2. Europe ECHA Registered Substances - Ecotoxicological Information - Aquatic Toxicity 4. US EPA, Ecotox database - Aquatic Toxicity Data 5. ECETOC Aquatic Hazard Assessment Data 6. NITE (Japan) - Bioconcentration Data 7. METI (Japan) - Bioconcentration Data 8. Vendor Data

12.2. Persistence and degradability

Ingredient	Persistence: Water/Soil	Persistence: Air
	No Data available for all ingredients	No Data available for all ingredients

12.3. Bioaccumulative potential

Ingredient	Bioaccumulation
	No Data available for all ingredients

12.4. Mobility in soil

Ingredient	Mobility
	No Data available for all ingredients

12.5. Results of PBT and vPvB assessment

	P	B	T
Relevant available data	Yes	Yes	Yes
PBT			
vPvB			

PBT Criteria fulfilled?	No
vPvB	No

12.6. Endocrine disrupting properties

No evidence of endocrine disrupting properties were found in the current literature.

12.7. Other adverse effects

No evidence of ozone depleting properties were found in the current literature.

SECTION 13 Disposal considerations

Continued...

13.1. Waste treatment methods

Product / Packaging disposal	<p>Legislation addressing waste disposal requirements may differ by country, state and/ or territory. Each user must refer to laws operating in their area. In some areas, certain wastes must be tracked.</p> <p>A Hierarchy of Controls seems to be common - the user should investigate:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ Reduction ▶ Reuse ▶ Recycling ▶ Disposal (if all else fails) <p>This material may be recycled if unused, or if it has not been contaminated so as to make it unsuitable for its intended use. If it has been contaminated, it may be possible to reclaim the product by filtration, distillation or some other means. Shelf life considerations should also be applied in making decisions of this type. Note that properties of a material may change in use, and recycling or reuse may not always be appropriate.</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ DO NOT allow wash water from cleaning or process equipment to enter drains. ▶ It may be necessary to collect all wash water for treatment before disposal. ▶ In all cases disposal to sewer may be subject to local laws and regulations and these should be considered first. ▶ Where in doubt contact the responsible authority. ▶ Recycle wherever possible. ▶ Consult manufacturer for recycling options or consult local or regional waste management authority for disposal if no suitable treatment or disposal facility can be identified. ▶ Dispose of by: burial in a land-fill specifically licensed to accept chemical and / or pharmaceutical wastes or Incineration in a licensed apparatus (after admixture with suitable combustible material). ▶ Decontaminate empty containers. Observe all label safeguards until containers are cleaned and destroyed.
Waste treatment options	Not Available
Sewage disposal options	Not Available

SECTION 14 Transport information

Labels Required

	
Marine Pollutant	
HAZCHEM	3Y

Land transport (ADR-RID)

14.1. UN number or ID number	2325	
14.2. UN proper shipping name	1,3,5-TRIMETHYLBENZENE	
14.3. Transport hazard class(es)	Class	3
	Subsidiary risk	Not Applicable
14.4. Packing group	III	
14.5. Environmental hazard	Environmentally hazardous	
14.6. Special precautions for user	Hazard identification (Kemler)	30
	Classification code	F1
	Hazard Label	3
	Special provisions	Not Applicable
	Limited quantity	5 L
	Tunnel Restriction Code	3 (D/E)

Air transport (ICAO-IATA / DGR)

14.1. UN number	2325
-----------------	------

14.2. UN proper shipping name	1,3,5-Trimethylbenzene	
14.3. Transport hazard class(es)	ICAO/IATA Class	3
	ICAO / IATA Subrisk	Not Applicable
	ERG Code	3L
14.4. Packing group	III	
14.5. Environmental hazard	Environmentally hazardous	
14.6. Special precautions for user	Special provisions	Not Applicable
	Cargo Only Packing Instructions	366
	Cargo Only Maximum Qty / Pack	220 L
	Passenger and Cargo Packing Instructions	355
	Passenger and Cargo Maximum Qty / Pack	60 L
	Passenger and Cargo Limited Quantity Packing Instructions	Y344
	Passenger and Cargo Limited Maximum Qty / Pack	10 L

Sea transport (IMDG-Code / GGVSee)

14.1. UN number	2325	
14.2. UN proper shipping name	1,3,5-TRIMETHYLBENZENE	
14.3. Transport hazard class(es)	IMDG Class	3
	IMDG Subrisk	Not Applicable
14.4. Packing group	III	
14.5. Environmental hazard	Marine Pollutant	
14.6. Special precautions for user	EMS Number	F-E, S-D
	Special provisions	Not Applicable
	Limited Quantities	5 L

Inland waterways transport (ADN)

14.1. UN number	2325	
14.2. UN proper shipping name	1,3,5-TRIMETHYLBENZENE	
14.3. Transport hazard class(es)	3	Not Applicable
14.4. Packing group	III	
14.5. Environmental hazard	Environmentally hazardous	
14.6. Special precautions for user	Classification code	F1
	Special provisions	Not Applicable
	Limited quantity	5 L
	Equipment required	PP, EX, A
	Fire cones number	0

14.7. Maritime transport in bulk according to IMO instruments

14.7.1. Transport in bulk according to Annex II of MARPOL and the IBC code

Not Applicable

14.7.2. Transport in bulk in accordance with MARPOL Annex V and the IMSBC Code

Product name	Group
--------------	-------

Continued...

14.7.3. Transport in bulk in accordance with the IGC Code

Product name	Ship Type
--------------	-----------

SECTION 15 Regulatory information

15.1. Safety, health and environmental regulations / legislation specific for the substance or mixture

This safety data sheet is in compliance with the following EU legislation and its adaptations - as far as applicable - : Directives 98/24/EC, - 92/85/EEC, - 94/33/EC, - 2008/98/EC, - 2010/75/EU; Commission Regulation (EU) 2020/878; Regulation (EC) No 1272/2008 as updated through ATPs.

Information according to 2012/18/EU (Seveso III):

Seveso Category	P5a, P5b, P5c, E2
-----------------	-------------------

15.2. Chemical safety assessment

For further information please look at the Chemical Safety Assessment and Exposure Scenarios prepared by your Supply Chain if available.

ECHA SUMMARY

Not Applicable

National Inventory Status

National Inventory	Status
Australia - AIIC / Australia Non-Industrial Use	Not Available
Canada - DSL	Not Available
Canada - NDSL	Not Available
China - IECSC	Not Available
Europe - EINEC / ELINCS / NLP	Not Available
Japan - ENCS	Not Available
Korea - KECL	Not Available
New Zealand - NZIoC	Not Available
Philippines - PICCS	Not Available
USA - TSCA	Not Available
Taiwan - TCSI	Not Available
Mexico - INSQ	Not Available
Vietnam - NCI	Not Available
Russia - FBEPH	Not Available
Legend:	Yes = All CAS declared ingredients are on the inventory No = One or more of the CAS listed ingredients are not on the inventory. These ingredients may be exempt or will require registration.

SECTION 16 Other information

Revision Date	16/09/2022
Initial Date	16/09/2022

Full text Risk and Hazard codes

Other information

Classification of the preparation and its individual components has drawn on official and authoritative sources as well as independent review by the Chemwatch Classification committee using available literature references.

The SDS is a Hazard Communication tool and should be used to assist in the Risk Assessment. Many factors determine whether the reported Hazards are Risks in the workplace or other settings. Risks may be determined by reference to Exposures Scenarios. Scale of use, frequency of use and current or available engineering controls must be considered.

For detailed advice on Personal Protective Equipment, refer to the following EU CEN Standards:

EN 166 Personal eye-protection

EN 340 Protective clothing

EN 374 Protective gloves against chemicals and micro-organisms

Continued...

EN 13832 Footwear protecting against chemicals
EN 133 Respiratory protective devices

Definitions and abbreviations

PC - TWA: Permissible Concentration-Time Weighted Average
PC - STEL: Permissible Concentration-Short Term Exposure Limit
IARC: International Agency for Research on Cancer
ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists
STEL: Short Term Exposure Limit
TEEL: Temporary Emergency Exposure Limit,
IDLH: Immediately Dangerous to Life or Health Concentrations
ES: Exposure Standard
OSF: Odour Safety Factor
NOAEL :No Observed Adverse Effect Level
LOAEL: Lowest Observed Adverse Effect Level
TLV: Threshold Limit Value
LOD: Limit Of Detection
OTV: Odour Threshold Value
BCF: BioConcentration Factors
BEI: Biological Exposure Index
AIC: Australian Inventory of Industrial Chemicals
DSL: Domestic Substances List
NDSL: Non-Domestic Substances List
IECSC: Inventory of Existing Chemical Substance in China
EINECS: European INventory of Existing Commercial chemical Substances
ELINCS: European List of Notified Chemical Substances
NLP: No-Longer Polymers
ENCS: Existing and New Chemical Substances Inventory
KECI: Korea Existing Chemicals Inventory
NZIoC: New Zealand Inventory of Chemicals
PICCS: Philippine Inventory of Chemicals and Chemical Substances
TSCA: Toxic Substances Control Act
TCSI: Taiwan Chemical Substance Inventory
INSQ: Inventario Nacional de Sustancias Químicas
NCI: National Chemical Inventory
FBEPH: Russian Register of Potentially Hazardous Chemical and Biological Substances

Powered by AuthorITe, from Chemwatch.